

横須賀市スポーツ表彰式が実施されました

2月11日（土）、ヨコスカ・ベイサイド・ポケットにて、令和4年度横須賀市スポーツ表彰式が実施され、体育功労者7名1団体、スポーツ栄光章161名（個人45名チーム9団体）、スポーツ大賞2名の皆様が表彰を受けました。（受賞者一覧は次ページ）

スポーツ協会から代表して竹内会長が登壇し、祝辞を述べていただきました。

また、ソフトテニス協会の栗本加代子様横須賀市体育功労者を代表して謝辞を述べました。

受賞された皆様、おめでとうございます。今後のご活躍にも期待しております。



スポーツよこすか

横須賀市スポーツ協会広報紙 第二〇号

創立 昭和 10. 11. 3
創刊 昭和 58. 8. 1

発行所
横須賀市小川町11番地
横須賀市文化スポーツ観光部
スポーツ振興課内
横須賀市スポーツ協会
編集責任者 会長 竹内英明
印刷所 (有)セイキ印刷
広報委員会

新年を迎えて

横須賀市スポーツ協会会長

竹内 英明



新年あけましておめでとうございます。日本が開催されます。2月11日には令和4年度横須賀市スポーツ表彰式が開催され、全国大会等で顕著な成績を収めた選手の皆様が出席されました。コロナ禍で中止となった一昨年、開催はしたが来場制限がかかり少し寂しい雰囲気だった昨年から、ようやく例年の規模まで戻ることができました。

うございます。昨年も本協会からの事業において多方面からお力添えいただきましたことを心から感謝申し上げます。引き続き、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルスの影響は多少弱まってきているとはいえ、予断は許さない状況です。そんな中で、昨年は多くのスポーツイベントが開催されました。以前の賑わいを取り戻すまでそう時間がかからないのではないかと予感しております。昨年のサッカーワールドカップに続き、今年には野球の祭典、ワールド・ベースボール・クラシック

結びになります。令和4年度横須賀市スポーツ表彰式の場で表彰を受けられた皆様、誠にありがとうございます。これまでの長きに渡るご努力に深く敬意を表します。ともに今回の受賞を弾みに2023年の更なるご活躍を祈念して私のあいさつといたします。

令和4年度横須賀市スポーツ表彰式 受賞者一覧 (敬称略)

横須賀市体育功労者 (7名1団体)

所 属	氏 名
横須賀剣道連盟	板垣 好彦
横須賀野球協会	川瀬 勉
横須賀ソフトテニス協会	栗本 加代子
横須賀市陸上競技協会	小島 正久
横須賀ラグビー協会	坂本 成利
横須賀スキー協会	中村 英則
横須賀水泳協会	中山 裕子
正栄館 磯部道場	

横須賀市スポーツ栄光章 個人 (45名)

所 属	氏 名
サガミ	大貫 涉
横須賀総合高等学校	及川 未稀
横須賀市アーチェリー協会	今野 和義
横須賀カヌークラブ	白幡 智美
NPO法人 神奈川県視覚障害者福祉協会グランドソフトボールクラブ	福本 順哉
高坂FC	松崎 佑亮
日本大学	木村 凌也
防衛大学校	齊藤 孝
陸上自衛隊	佐々木 聡
横浜修悠館高等学校横須賀	岡村 周平
横浜修悠館高等学校横須賀	植田 幸磨
横浜修悠館高等学校横須賀	四元 洸貴
MOPS	大堀 博美
市立大津中学校	古賀 華泳
DIABLO	古賀 武文
イトマン横須賀	二本木 望来
イトマン横須賀	松原 光佑
SPホウトク金沢	柳川 大樹
イオン久里浜店	宮崎 優香
横須賀市身体障害者卓球クラブ ウィング	井上 雄輔
関東化成工業	岡田 勇樹
横須賀市バウンドテニス協会	鈴木 正夫
横須賀市バウンドテニス協会	岡咲 昭三
ASP港南台TS	鈴木 翔
葉山テニスクラブ	佐藤 仁則

横浜スポーツマンクラブ	麦 富栄
神奈川県BMX協会	石川 智士
横須賀市身体障害者スポーツ協会	狩野 文男
横須賀市身体障害者スポーツ協会	狩野 弘子
1FDK 三ッ磯	森 秀樹
横須賀学院高等学校	服部 輝海
横須賀市ラグビースクール	外崎 楓
横須賀大津高等学校	大熊 紗弥
市立鴨居中学校	内山 潤太
市立久里浜中学校	エゼ・アマカ
青山学院大学	金子 ひとみ
法政大学	内田 隼太
創価大学	濱野 将基
専修大学	粟江 倫太郎
特定非営利活動法人 Fun Place39 39 Enjoy Runners	篠田 力
横浜WINS	高張 絢斗
NEXUS WRESTLING TEAM YOKOSUKA	勝目 結羽
NEXUS WRESTLING TEAM YOKOSUKA	木下 凜
日本大学藤沢高等学校	竹内 美保子
神奈川大学	新倉 すみれ

横須賀市スポーツ栄光章 チーム (9団体)

横須賀 (ソフトボール)
横須賀シーガルズMEG
横須賀市役所 (女子)
三浦学苑高等学校軟式野球部
神奈川 (ソフトテニス)
神奈川 (柔道)
神奈川A (剣道)
横浜修悠館高等学校横須賀バレーボール部
横浜修悠館高等学校横須賀銃剣道部

横須賀市スポーツ大賞 (2名)

種 目	氏 名
ロードレース	長島 哲太
ムエタイ	吉成 名高

スポーツによるにぎわいが再び

横須賀市スポーツ協会理事長 柏木雅一



新年あけましておめでとうございませう。各協会・団体の皆様におかれましては、輝かしい新春を迎えたことと存じます。

今年も平穏な年になりますように会長はじめ役員一同願っております。

さて、この一年、コロナ禍の中、各団体におかれましては、知恵をしばって大会を開催してきたことと思ひます。三年ぶりに有観客で箱根駅伝が行われ、選手・観客が一丸となり大いに盛り上がりました。結果は駒澤大学の三冠で幕を閉じましたが、それまでの厳しい練習等々があって達成されたことと思ひます。誠にめでたうございませう。さらに、高校駅伝・大学女子富士山駅伝と有観客で開催され、大いに盛り上がった様子がテレビ越しに映っていました。選手はもちろんです、各関係者の多大な努力の賜物かと深く敬意を表します。

我がスポーツ協会としましては、残念ながら評議員懇親会ならびに新年会を会食ありで開催することができませんでした。

1月11日現在のコロナ感染者が300人以上ということで「ヴェルクよこすか」での賀詞交歓会とさせていただきます。残念ではありますが、皆様と歓談できる日を願っています。

スポーツ協会主催の講習会では、神奈川衛生学園専門学校にて、12月に引き続き「身体能力を高めるトレーニング」を2月に2回実施しました。前回は20人の参加者があり「なぎなた」から参加した児童は、「次も絶対参加します」と言って帰っていきました。少しずつでも子どもたちの身体育成の一助になればと考えながら、今後も各所の協力を得ながら続けていきたいと思ひます。

最後になりますが、今年も役員改選期ですが、コロナがおさまり、心機一転、本来の活動ができるように願っております。各団体の皆様におかれましては、本年もスポーツ協会へのご支援・ご協力を賜りますようしくお願いいたします。

種目団体だより

横須賀レスリング協会

令和4年度全日本女子オープン選手権優勝！

横須賀ジュニアレスリングクラブ

大矢 華乃

全国大会決勝、今まで一度も立ったことのないずっと立ちたいと努力してきた場所でした。

多くの人に見てもらっていることでの緊張や相手も勝つためにずっと練習をしてきたと考えると「自分はそれに勝つくらいの練習をしてきたのか？」と問いかけたもなりました。

しかし、試合が始まると、全ての考えを忘れて



全力でプレーすることができました。結果はギリギリの大逆転、46kg級で優勝することができました。

内容的にはもっと練習し、応援してくれる方々がハラハラドキドキするような安定した試合をしたいと思います。

私がレスリングを始めたのはオリンピックを見やってみよう！と思ったのがきっかけでした。

2016年のリオオリンピック選手が活躍しているのを見て市民スポーツ教室に体験で参加しました。

そこで先輩方が優しく丁寧に教えてくれたことから楽しくレスリングを始めることができました。

当時は周りの方々に色々迷惑を掛けたと思いますが、今ではすごく感謝しています。

来年度の目標はまず、4月に行われる全国大会

で優勝することです。

そのためにはレスリングの練習だけではなく、横須賀トップアスリートアカデミーでの講習会で

学んだ「体の使い方」や「栄養学」などを試合の結果に結びつくように実践して行きたいと考えています。

レスリングを通じて多くの方々に関わりを持たせていただき、いろんなことを学び、人間として日々、成長していると実感しています。

これからも周りの方々のお陰で恵まれた環境で練習できることに感謝し、もっと強くなれるように努力したいと思います。

横須賀市カヌー協会

白幡 智美

県予選、関東ブロック大会を通過し、国体に出場できたことに自分でも本当に驚きました。緊張しましたが、チームのメンバーや指導してくれた監督、コーチ、支えてくれた家族、そして応援してくださった多くの方々に感謝と恩返しのできるよう全力でレースに臨みました。

厳しい戦いでしたが、500m、200mのどちらの種目も8位入賞という結果を持ち帰ることができて、ほっとしています。また、大きな規模の大会で全国のチームを見て、とてもたくさんさんの刺激を受けました。

今年も出場できたら更に良い報告ができるように頑張りたいです。

改めて、国体という大きな舞台に立てたことをとっても誇りに思います。



究極の全身運動スポーツ『レスリング』

幼少期・ジュニア世代の体力作りを応援します！

横須賀レスリング協会

会長 山下 薫

お問い合わせは…

090-1852-7330 奥屋敷（理事長）まで

横須賀なぎなた協会

三村 茉奈

私は、幼稚園の年長の時に、叔母に誘われて、なぎなたのお稽古の見学に行きました。

その時の叔母の姿を見て「かっこいい」と思い、私も始めました。

当時の夢は「チャリンチャリン」の音。

大会で演技競技と試合競技の両方で入賞し、メダルをかけてもらった時に「チャリンチャリン」と鳴ります。私は、その音を自分で鳴らしてみたいと思いい、一生懸命稽古をしました。

その結果、昨年度の県大会では、夢の「チャリンチャリン」を金メダルで叶えることができました。

また、今年度の全国少年少女錬成大会では3年ぶりに日本武道館で開催され、叔母もコーチとして一緒に行ってくれました。でも入賞はできず、



日々の稽古の大切さを改めて感じました。

そして、今年度は連覇のかかった県大会（小学生最後）の大会に出場。5年ぶりに、叔母も選手として出場することになり、必ず一緒に金メダルを首にかけて、写真を撮ろうという目標を立て、たくさん稽古を重ね、無事目標を達成することができました。

今後の夢は、中学生になっても活躍できるように、日々の稽古を重ねて、今よりもっと強くなりたいです。そして、いろいろな人と対戦してみたいです。

また、私の頑張る姿を見て、なぎなたの素晴らしさを知ってもらい、今よりもっと仲間が増えたら、うれしいです。

横須賀ヨット協会

横須賀ヨット協会は、

小中学生を対象に、ヨットを通じて、海に親しみ、青少年の心身の健全な育成を目的とした活動をしています。主な使用艇は、

OP級ディンギー（国際セーリング連盟が承認する最小クラス）とレーザ級ディンギー（東京五輪にも採用された艇種）です。

外部コーチの招聘、他クラブとの合同練習、そして公式レース参加を通じて、さらなるセーリング技術の向上に努めています。OP級を卒業したジュニアはレーザ級



へステップするので、艇の拡充をしているところなんです。

外部レースに参加し、未来のオリンピック育成を目指し、経験を積み重ねていきます。

また、横須賀ヨット協会が運営しているクルーザーヨット・アスパイア号の体験乗船事業の一環として、

神奈川県不登校対策事業に協力し、不登校児童生徒、そしてその保護者を対象とした浦賀歴史ツアー（浦賀ドック見学・郷土資料館の見学・叶神社への参拝・浦賀湾を巡る体験乗船）を開催しています。今年度は、初の試みとして不登校児童生徒の保護者同志の交流の場（カフェトーク）を開催しました。近年、

不登校児童生徒が増加傾向にある（令和4年度の横須賀市不登校児童生徒数過去最多937人）と聞く心が痛みます。児



童生徒本人も色々な事で悩んでいると思いますが、保護者のご苦労は大変の事と推測できます。児童生徒達の始めの一步として我々の活動が貢献できれば良いと考えています。令和5年度も引き続き不登校問題について児童生徒達と一緒に考えながら、活動を続けていきます。

横須賀野球協会

事務局

協会には小学生(学童)から75歳以上で構成するグラウンド古希まで様々な年代のチームが所属しています。昨年、全国大会に出場したチームの結果・感想と今年の春に全国大会出場が決まっているチームの抱負などを紹介します。

〔横須賀シニアクラブ(60歳以上の還暦チーム)〕
『ねんりんピックかながわ』軟式野球交流大会優勝
主に60歳以上の高齢者



を中心とする国民の健康保持・増進、社会参加、生きがいの高揚を目的にスポーツや文化種目の交流大会。久々に野球種目が採用され全国大会で優勝の実績がある還暦チームが推薦出場した。全国から27チーム(神奈川県6チーム)参加し、県下4球場(等々力・川崎大師・秦野・中井町)を使用して各ブロックトーナメント方式で行われた。1回戦は徳島吉野川クラブに9-2、2回戦は静岡大井川クラブに10-0、決勝戦は地元の川崎炎に6-1で勝利し優勝、野球を楽しみチームの団結力で栄冠を掴んだ。

〔横須賀クラブ(40歳以上の壮年チーム)〕
『日本スポーツマスターズ2022岩手大会出場』

チームのモットーは「常に楽しく厳しく日本一!」毎年日本スポーツマスターズ全国制覇を目標に活動しています。過去、2017年には念願の全国制覇を達成し、以降も神奈川県代表として出場しています。1回戦は開催地である岩手県チームに勝利しましたが、2回戦で惜しくも岡山県チームに敗れました。2023年も神奈川県で優勝し、「日本一」を目指して頑張ります。

〔湘南信用金庫(一般成人チーム)〕
『天皇賜杯第77回全日本軟式野球大会ENEOSTーナメント佐賀大会出場』
2年振りに出場した天皇賜杯では、ベスト8をチームの目標に掲げ、選手一同強い気持ちで大会に臨みました。初戦に全



国大会でも優勝経験のある愛知県代表の和合病院と対戦し0対3で敗戦。選手一人ひとりのレベルの高さ、全国常連チームの試合巧者ぶり等、実力の差を肌で感じる結果となりました。

この結果を糧に更なるレベルアップを図り、今年こそチームの目標である『全国大会ベスト8』を目指し活動を行っております。

〔横須賀ファイターズ



(中学生のチーム)〕
『文部科学大臣杯第14回全日本少年春季軟式野球大会静岡大会出場』3月21日から開催
チームは2000年に発足。横須賀市の市営球場や田浦中学校グラウンド・体育館をお借りして活動しています。全国大会はこれまでに夏季に4度出場(2012年、2013年ベスト8、2014年ベスト8、2016年)。春季は今回が初出場。横須賀市を、神奈川県を代表して頑張ります。
選手は学年問わず随時募集中です!!

横須賀剣道連盟

ねんりんピックの

優勝と3位入賞

森川 信幸

第34回全国福祉祭交流大会(通称ねんりんピック)が今年度神奈川県で開催されました。

ねんりんピックは出場資格が60歳以上の高齢者の全国大会です。剣道は、5人制の団体



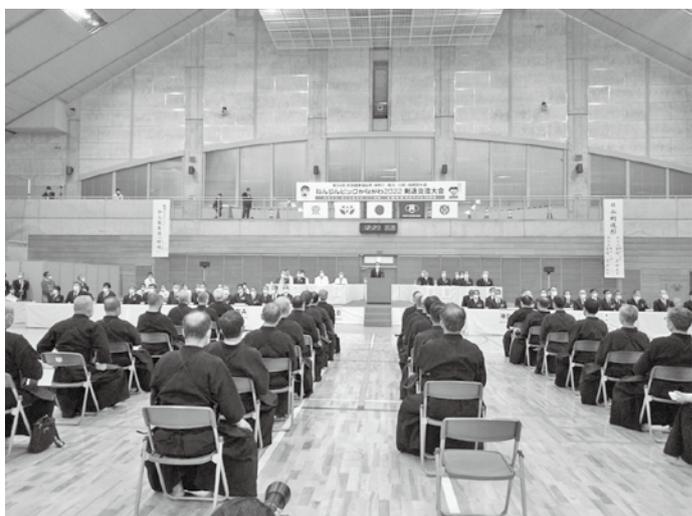
戦で行われ、主催県であることから神奈川県は2チームの出場が認められています。横須賀からAチームに2名(副将と大将)、Bチームに1名(大将)の3名がメンバーに選ばれています。

今大会には全国から67チームが参加し、予選リーグ、決勝トーナメント戦の熱い闘いを繰り広げました。結果は、Aチームが優勝、Bチームが3位入賞という最高の成果を挙げる事ができました。

は、私自身は、主催

県の代表チームの大将であることから必要以上にプレッシャーを感じていました。それだけに優勝できたことは歓迎よりもほっとしたところがあるというのが本音です。

今年度の横須賀剣道連盟の選手は、私たち高齢者ばかりではなく、若者たちも全国大会で目覚ましい活躍をしました。全日本実業団の全国大会と国体で県代表チームの一員として準優勝、また全国青年大会では団体優勝と個人優勝という輝かしい成果を挙げました。



横須賀剣道連盟

会長 田島 東海男

事務局長 青木 陽



YOKOSUKA